

2 利用研究の事例

1. 利用分野

2015年度は、162件（3,202時間）の利用実験の支援を行った。利用分野の分布を図1に示す。素材・原料及び電子デバイスを始めとして、現代社会のニーズを反映した広範囲な分野でシンクロトロン放射光が利用されている。

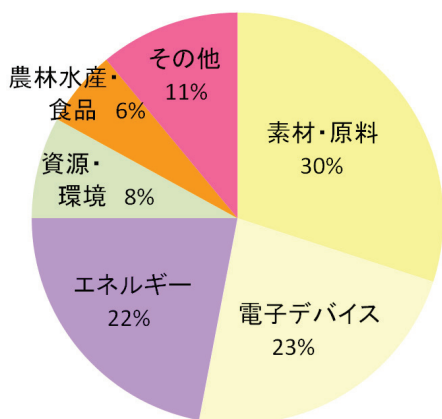


図1 2015年度利用分野の分布

2. 利用事例

ここでは広い分野に及ぶ利用研究から、各利用分野や実験手法の特長を示す以下の5件の利用事例について、次ページ以降、紹介する。

(1) LIB材料のXAFS分析

岡田貴（メルコセミコンダクタエンジニアリング株式会社）

(2) 固定化Pd錯体-有機分子触媒のXAFSによる構造解析とアリル化反応機構の解明

本倉健（東京工業大学）

(3) 力学特性が改善した廃棄リサイクル樹脂の結晶

構造評価

富永亜矢・八尾滋（福岡大学大学院 工学系研究科）

(4) Ni担持ゼオライト鋳型炭素における水素吸蔵挙動のin situ XAFS解析

西原洋知¹、丸山純²（¹東北大学、²大阪市立工業研究所）

(5) 超高濃度ドーパ低抵抗ダイヤモンド薄膜のX線吸収端微細構造解析

大曲新矢（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 先進パワーエレクトロニクス研究センター）

なお、利用研究に関する成果等は、X章にタイトル、所属及び氏名等をまとめて記述している。